

卒業生インタビュー

ゆみさん (F) 12週間

独学で英語を勉強していたゆみさん。独学の限界を感じ、英語漬けの時間を作りたくて留学を考えました。コロナの時期を乗り越え、2025年の秋から3ヶ月間の留学に来られました。

暑いのとエアコンが苦手なので、最初からバギオでの留学は決めていたそうです。その中から比較的生徒の年齢が高いところを探して来たWALESは、ご自身よりも年上の方がいたそうです。そういう日本人スタッフの私もいい年齢です。

来る前はフィリピンの治安を心配していたゆみさんですが、真夜中でも安心して歩けるバギオの治安の良さに驚いたそうです。

先生と生徒の距離も近くて、楽しく勉強することができたそうです。

続きはインスタグラムで!



WALES公式Instagram



最新の情報は
こちらからチェック!
[@walesbagoio2006](https://www.instagram.com/walesbagoio2006)

FOLLOW US

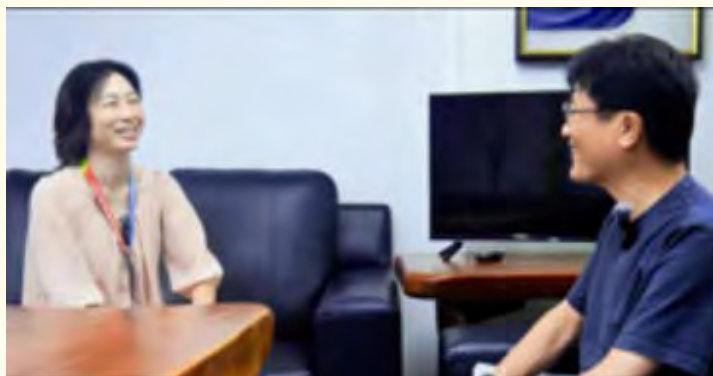
ゆきさん (M) 12週間

早期退職をされたゆきさんは、自由になる時間を得たことで今までやることがないことにチャレンジしようとフィリピン留学を思い立ったそうです。

学校に来る前はフィリピンの食事に少し不安を感じて、みそ汁などの日本食材を持ってきたそうですが、その出番はなかったそうです。それを聞いて、私たちスタッフ一同、安心いたしました。そうなんです。WALESの食事、フィリピン料理はもちろんの事、日本人にもなじみのある韓国料理や親子丼、照り焼きチキンのような日本食も出ます。さらにお野菜のおかずもたくさんあって、外食したいけど学校の食事でも食べたくて困っちゃうんです。

ゆきさんもフィリピンのファーストフード「jollibee」が大好きになったそうですが、留学最終日は学校の食堂で食事をしていただくくらいです。最終日の3日前くらいから元気がなくなったゆきさんですが、日本に戻っても頑張ってくださいね。

お二人のインタビューのフルバージョンはWALESのInstagramでご覧いただけます!



WALES 日本人スタッフX

バギオや学校の最新の情報を毎日発信!

<https://x.com/JapanWales>

1月になってもフィリピンのクリスマスは終わることなく、いまだに町の中心地の公園にはクリスマスビレッジが毎日華やかに営業されています。

さて、最近のバギオといえば、クリスマスから年末年始過ぎてもずーっと混雑。元々バギオはフィリピン人の憧れの観光地として超有名です。そのため週末には多くのフィリピン人がバギオ目指して観光にやってきます。

セブ島の渋滞も凄いらしいですが、バギオの渋滞もかなりなものです。島の渋滞も山頂の渋滞も逃げ道がないという同条件。土日だけかと思いきや、平日の通勤通学ラッシュ時はタクシーは捕まらず、ジプニーは長蛇の列。「タクシーが捕まらなければGrabがあるじゃない」とマリーアントワネットのような考えになるかもしれませんが、そのGrabを使ってもタクシーが捕まらないんです!!

町までタクシーで10～15分とか、ジプニーで20分とあっても、肝心の乗り物に乗ること自体が困難であれば、気分転換の外出がストレスにしかならない。

そのストレスがWALEの学生にはありません。なぜなら学校はすでに町の中心地にあるから。平日でも授業が終わったら「ちょっと歩いて買い物に!」これが可能なんです。

「どの学校にするか?」それぞれ皆さんが重要視する点はあるでしょう。

私は環境は大事だと思っています。それは学校内だけでなく、学校外も。せっかく海外に来ているのですから、勉強はもちろんですが、リアルな海外生活も体験していただきたい。それが留学の醍醐味じゃないでしょうか?

さらに2月のバギオは一番盛り上がる月です。

なぜならパナクベガン（フラワーフェスティバル）が開催されるから。

町中に花が溢れるこの月は、クリスマスなんて目じゃないくらい観光客が押し寄せます。

それも1月12日から3月8日までの約2か月間。

閉鎖される道と一方通行になる道ができ（2025年参照）、ものすごい渋滞が起こるのは目に見えています。

せっかくバギオにいても町まで来れないということが起こる...かもです。

さあ、どうしましょう?

